



FRANCK MULLER
GENEVE



神奈川スバル株式会社

大阪スバル株式会社

京都スバル株式会社

滋賀スバル株式会社

兵庫スバル株式会社



RA SURTEES



AUTOBACS SUPER GT

Round1 岡山国際サーキット 300Km RACE





FRANCK MULLER
GENEVE

BBS

eau

神奈川スバル株式会社

大阪スバル株式会社

京都スバル株式会社

滋賀スバル株式会社

兵庫スバル株式会社

まのたけ
眼 科

amino
VITAL
アミノバイタル

air-J

MS128

Djac Racing
Factory

SPK

Arai
HELMET

RA SURTEES

999.9

<公式練習 / 21位>

今シーズンから新しくECUを新規に取り入れ、エンジン制御などをより細かくセッティング出来るようになりました。本来昨年から使う予定で進めていたのですが、細かく触れるようになった分、セット変更出来る内容が増えたため、扱え切れない部分も多くあり、詰め切ることが出来ず昨年は断念。一年かけてSTIさんが開発を進めてくれたので、今シーズンから使えるようになりました。今年の岡山は、天候に恵まれず雨での予選。前回の富士テストでも雨は不調でグリップ感を得ることが出来ていませんでした。今回も同様、タイヤのグリップを出すためのセット変更を大きくセットを変えていきましたが、思うように得ることが出来ず、練習は21番手で終わりました。





FRANCK MULLER
GENEVE

BBS

eau

神奈川スバル株式会社

大阪スバル株式会社

京都スバル株式会社

滋賀スバル株式会社

兵庫スバル株式会社

まのた
眼 科

amino
VITAL
アミノバイタル

air-J

MS128

Djac Racing
Factory

SPK

Arai
HELMET

RA SURTEES

999.9

<公式予選 / 22位>

Q1は、井口選手が担当します。状況的に、非常に厳しいと思い、練習走行も多く走った自分がQ1を担当するとチームに伝えたのですが、ここは今まで同様の形で行くとチームが強く押してきたので、チームの判断に委ねることにしました。

予選の時には、雨量も減る予報なので、何とか井口選手にQ1を突破してもらい、Q2で一つでも前からスタート出来る状況を作れるように頑張ろうということでした。

予選が始まり、また雨量も多くなり難しい路面状況になってきました。井口選手も果敢に攻めて行きますが、前との距離感がうまく合わせ切れず、また最終的に雨量が多くなり、タイムを出し切る前に赤旗が提示され、そのまま終了となりQ1を通過出来ず終わりました。ただ他車のダンロップは、1、2、3位がダンロップだったので、とても悔しい形となりました。





FRANCK MULLER
GENEVE

BBS

eau

神奈川スバル株式会社

大阪スバル株式会社

京都スバル株式会社

滋賀スバル株式会社

兵庫スバル株式会社

まへだ
眼科

amino
VITAL
アミノバイタル

air-J

MST28

Djac Racing
Factory

SPK

Arai
HELMET

RA SURTEES

999.9

< 決勝 / 21位 >

日曜日は、昨日の天候と変わって晴れ模様。ただ決勝の時間帯からは雨予報も出ていて、読めない状況。ただししっかり状況を判断しながら、良いレース展開を進めていけるようにしていきたいと思います。朝のフリー走行は、ポジションは7番手でした。雨よりは、とても狙えるポテンシャルがありました。決勝は、今まで同様、井口選手がスタートを担当します。スタートでは、ポジションは変わらず、そのまま淡々と時間が過ぎていきます。10周が過ぎた辺りで雨の予報が早まり、コースは完全にウェットに変わり始め、続々とレインタイヤに交換してくる車両でピットが溢れます。コース内も大きく荒れており、SCが入ります。SC空けに雨が止み、路面も乾き始めていく中ダンロップ勢は、正直勝負にならないタイムでした。なので、このままレインで走り続けても意味がないと判断。





FRANCK MULLER
GENEVE



神奈川スバル株式会社

大阪スバル株式会社

京都スバル株式会社

滋賀スバル株式会社

兵庫スバル株式会社



まだ乾ききってない状況ですが、いち早くスリックに変更。このタイミングで、ドライバーも自分に変わりました。22番手でコース内に戻り、路面はまだ濡れている状況ですが、攻めないとタイヤに熱も入らないので、ミスを恐れず攻めていきます。気が付けば10周走った所でポジションを15番手まで上げていき、何とかポイント圏内まで持ち込みたいと気持ちが入りすぎてしまい、30号車とのブレーキ勝負で少し踏力を上げすぎてしまったことでリアがロックし、マシンをコントロールできず、ヘアピンでグラベルにハマってしまい、これで勝負権を失ってしまいました。自分の状況判断ミスで止まってしまい強く反省です。今後同じミスが無いようにしていきます。ただミスを臆して攻める姿勢を失ってしまわないように、しっかり見つめ直して努力していきます。次戦は、GWの富士で開催されます。しっかり集中して次に挑みます！

